

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2017年7月号



発行人：濱塚有史 編集人：武田悠 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



「キャンプと出会い」

松平 大知（岩手県立大学総合政策学部 2年）

「キャンプははじめてじゃないけど いつも来るたびドキドキ」

私の大好きなキャンプソングの一節だ。私が盛岡YMCAでリーダーとして参加するようになって、たくさんのキャンプに参加した。キャンプの日が近づくにつれて、頭の中でこの曲が幾度となく流れる。

ドキドキと言っても色々な感情が含まれる。どんな事が起きるのだろう。どんな子どもたちとあえるのかな。そんな楽しみなドキドキもあれば、ちゃんとできるかな。へましないかな。という不安のドキドキも含まれている。だが、キャンプに行くと、色々な感情をみんなは吹き飛ばしてくれる。みんなで食べるご飯や、大騒ぎのお風呂タイム、みんなで見上げた満天の星空、全力で遊んだフリータイム。みんなと一緒に過ごしている何気ない時間でさえも、大笑いしている自分がある。

そんな楽しいキャンプだが、ひとつだけ欠かせないものがあると私は思う。それは一緒にキャンプに行く友達の存在だ。楽しいこと・嬉しいことは、みんなと一緒に

いるともっと大きくなる。不安なこと・悲しいことは、みんなといると何処かへ消えてしまう。晴れの日も、曇りの日も、雨の日だって、みんなといると関係ない。そんなステキな経験、ステキな友達との出会いがあるのが、盛岡YMCAのキャンプだ。

しかし、ひとつひとつのキャンプは一回限りのものである。どんなに楽しかったキャンプも、もう一度体験することは絶対にできない。何故なら、同じメンバーが揃ってキャンプをするのはもうないからだ。だからこそ、私たちリーダーは、一回きりのキャンプを最高なものにしていきたいし、一回のキャンプを、一回の出会いを大切にしていきたい。

今年も、キャンプがやってくる。どんな人が来るのだろう。どんな出会いがあるのだろう。はじめてではないけれど、今からとってもドキドキワクワクしている。



夏キャンの魅力って…？

みなさんは、『夏』と言えば何を思い浮かべますか？花火？祭り？海？夏休み？浴衣…？。では、『YMCAの夏』と言えば何を思い浮かべるでしょうか？それはやはり、キャンプ!!!ということで、今回はたくさんのリーダーから、そんな夏のキャンプの魅力を教え



メンバー

子どもが好きな私は「もっと子どもたちと遊びたい！もっと子どもたちの笑顔を見たい！」という気持ちを抱いて去年のサマーキャンプに参加した。普段の野外活動とは違う活動ができる。そして、何より子どもたちが必死に何かをやり遂げるための後ろ姿が見られることは夏キャンの魅力★

岩手大学1年 オン ホーイン

こんにちは！う〜〜〜〜マンボーです！マンボーは去年、島のわくわくキャンプに参加しました。3泊4日という長い期間、お父さん、お母さんから離れ、たくさんの友だちや、リーダーと過ごせることがこのキャンプの魅力だと思います☆みんなで最高の夏休みの思い出を作りませんか？

盛岡大学3年 佐藤 妃奈



メンバー

大自然の中で思いっきり遊んだり、初めていく場所、初めて見るもの、とにかくたくさんワクワクが詰まっているのが夏キャンの魅力です！まずは、来てみてください☆最高のキャンプを最高の仲間とつくりよう！

岩手看護短期大学3年 鬼柳 琴



メンバー



メンバーリーダー

こんにちは！メカです！キャンプの時期になりました。ご飯を作ったり、水をかけあったり、最後にはいつの間にか、みんな仲良しになっているのでメカはキャンプが大好きです★今年も一緒に夏にしかできないことをいっぱいしよう！

盛岡大学3年 渡辺 芽生



メンバー

ガスが無くて、火をつけて料理できる！電気が無くても、みんながいれば夜もワイワイ楽しめる！普段の生活では体験できない自然とのふれあいはもちろん、初めての事に仲間と一緒に挑戦することで一生の思い出が作れるよ★

岩手県立大学盛岡短期大学部2年 早坂 知美

キャンプの魅力は何といっても、子どもたちが丸一日以上、他の子やリーダーたちと過ごせることです！一緒に生活する中でアドベンチャーや他の活動では見られない！新しい一面が見つかること間違いなしです！

岩手県立大学2年 星 亮太郎



メンバー

夏キャンの魅力は、なんと言っても「一生の思い出」になること！みんなでご飯を食べて、虫を捕って、遊んで、お風呂に入って、テントに泊まって、寝て、また遊ぶ…。そんな経験は一生に一度の思い出になる！！

岩手県立大学2年 岡田 稜平



メンバー



メンバーリーダー

ジョアです！今年もキャンプの時期がやってきました。キャンプの楽しみといえば…テント泊に、火起こしはもちろん、リーダーの秘密を知れたり、夜まで遊べたり…。この夏一番の思い出になること間違いなし！！

盛岡大学3年 伊藤 穂南



メンバー

夏キャンは発見！何が好きなのかな、何ができるのかな、何が楽しいのかな…？いろんなことを子どもたちからもリーダーからも、もちろん自分からも見つけられる場だと思っています！今年もたくさん見つけるぞー★

盛岡大学短期大学部2年 渥美 百恵

自然にいっぱい触れて、1日中遊んで、キャンプによっては、テントで寝たりなど…。キャンプの魅力といえば、日ごろの生活では体験できないことが、いっぱい体験できること！友達やリーダーと楽しいキャンプにしよう！！

盛岡大学3年 佐藤 唯衣



メンバーリーダー

5月★サンデースクール



こんにちは！れんげです♪5月のサンデースクールは5月21日に仙北活動地区センターでオリジナルクッキーメロンパンを作りましたよ！子ども17人、リーダー29人で活動しました。

今回の活動から新しいリーダーがたくさん加わりちょっと緊張している顔がちらほらと見られましたが！実際に作り始めるとみんな元気いっぱいでした☆まず最初にクッキー作りからスタートです。クッキーは、いちご・チョコ・抹茶・プレーンの4つの味を作りました。生地に色が付くようにコネコネ混ぜました。色が付き生地ができたからいったん冷蔵庫に入れ休ませます！休ませている間に…大事なパン生地作りをしました。なかなかうまくまとまらず、ちょっと苦戦する姿も見られましたがみんなで協力してパン生地をコネることができました！このコネ具合がふっくらパンを作るのに重要となってきますよ！発酵させるために暖かいとこ



ろに置いて起きます。ここで、冷蔵庫に入れておいたクッキー生地を取り出し型でくり抜いていきます。「ピンクだからハートにする！」「星の形にもしてみたいな」と一人ひとりがこだわりを持ちながら作ることが出来たと思います。発酵が終わったパンを見てみると、発酵前の2倍くらい大きくなりモチモチとした生地に変身していました。発酵ってすごい…！クッキー生地とパン生地を何でくっつけるかという水です！軽くパン生地に水を塗っておくと焼き上がったときでも剥がれる心配はありません！キャラクターの顔を作ってみたり、お花の形にしてみたりと題名通りオリジナルのクッキーメロンパンを作ることができました！食べてみるとふわふわで甘くて美味しかったです。オリジナルクッキーメロンパン作りは大成功でした！！

次回のサンデースクールは「転んでも転んでも起き上がる、おきあがりこぼしを作ろう」です。たくさんの参加待って！ます！！

盛岡大学児童教育学科3年 槻山 瞳 (れんげリーダー)



★5月アドベンチャー★



こんにちは！さそりからは5月アドベンチャーについて書きますよ！今回の5月アドベンチャーは「レッツ！アウトドアクッキング☆」と題しまして、外山森林公園にて飯盒炊飯をしてきました。前日のあいにくの雨により、各小学校の運動会が延期開催となり、残念ながら来られなくなったお友達もいましたが、当日はそのお友達の分まで、集まったメンバー全員で100%楽しんできました。今回のメインの活動はもちろん飯盒炊飯！飯盒を見るのも触るのも初めてだったお友達もいたはず。各グループのリーダーから計量カップを使用しない米の量り方、米とぎボウルを使わない米のとぎ方を教えて貰って、いざチャレンジ！みんな丁寧に丁寧にやってくれました。先に米をといでうるかしておくとおいしいごはんが炊けるということでどのグループも実践していました。次にみんなでチャレンジしたのが薪割り。焚き付け用の細い薪にすることが目標です。ナタの使い方の説明を聞くみんなの目は真剣そのもの。ナタは便利だけど少し誤ると危険なものということをしつかり理解した上で、薪割りに取り掛かりました。初め

のうちはリーダーの手を借りていた子ども達も、2本目、3本目となると薪割りのプロとなっていました。薪が準備できると、その木を組み立てて火つけ。木を補充する係、うちわで空気を送る係等みんなで役割分担をして、協力してやっていました。と同時に、焼きたい物を焼く時間！☆事前に準備してきた物を、串に刺して焼こうか、アルミホイルに巻いて焼こうか、火で直接炙ろうか等々が考え、チャレンジする時間ともなりました。いい感じに焼けてきたところで、お米も無事完成！自分たちで苦労して炊いたお米と、チャレンジしながら焼いたおかずを合わせてお昼としました。この後は外山森林公園にあるアスレチックで遊んだり、火つけに夢中になってマシュマロを焼いたり、仲良くなったお友達とフリーな時間を過ごしました！今回のアドベンチャーは自然の中で遊ぶだけではなく、野外での調理をお友達と協力してやるというなかなか体験する機会はないけれど、とても貴重で有意義な時間となったと思います。頑張った後のご飯は最高です！みんなのキラキラした笑顔が見られたアドベンチャーでした！！

岩手大学人文社会科学部3年 菊池 望 (サソリリーダー)



おもしろいナタを持
ち、いざ薪割り挑
戦☆1年生でもで
きるもの♪



細く細く！薪割り
チャレンジ！笑顔
でお披露目☆



おいしくお米が炊
けますように☆
丁寧に お米を磨ぎ
ました！



薪割りが終われ
ば、火付けへ
ゴー！



焼きたいものをそ
れぞれ持参♪串に
さし、焼けるかわ
くわく♪



午後はみんなでア
スレチック☆

森のようちえん



今回の特別プログラムは、森のようちえん！スタッフ1人、リーダー4人、子ども6人の計11人で「子どもの森」へ行ってきました。計11人ということで、普段のアドベンチャーのようにグループに分かれなかったため、「こじんまりと」みんなで楽しむことができました！

盛岡駅西口バスターミナルに集合した時は少し緊張しているお友達も居ましたが、リーダーたちによるバスプロ(バスの中のゲーム)により徐々に緊張がほぐれていきました。バスプロも普段のアドベンチャーとは違い、リーダー全員が一つずつゲームを進めました。「でっかいでっかいゴリラ」の手遊びゲームで隣の席のお友だちとこちょこよしあったり、「グーチョキパーで何作ろう♪」で子どもたちの個性あふれる色々なモノをみんなで作りました。

子どもの森に到着し、荷物を置き、自由時間スタート！施設内は お寿司屋さんコーナーや郵便屋さんコーナー、巨大トイレや動物のお尻が並んだ壁、見た目は銭湯なのに湯船の中にはたくさんのおもちゃが入っている「おもちゃ湯」などとてもユニークなモノばかりで、最初はそれぞれが自分の興味のあることにまっしぐらでしたが、だんだんとみんなで巨大滑り台を滑ったり、宝箱探しをしたり、ボールを転がすピタゴラス

イッチのようなもので遊んだりしました。そのうちに「お腹すいたー」という声が聞こえてきたので、お弁当の時間はみんなで相談をして決めました。お弁当はみんなで丸を描いて座って食べました。全員がお弁当を完食することができたので、おやつタイムもみんなでおいおい盛り上がる事ができました。

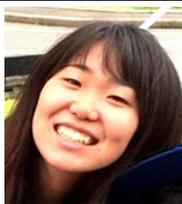
午前中は雨が降っていましたが、午後からは天気も晴れ、みんなで外で遊びました。大きなイカダに乗って岸から岸へと行ったり来たりして遊びました。このイカダは左右の岸とロープで繋がっていて、そのロープを手繰っていくと岸にたどり着くシステムになっています。順番交代でロープを手繰ったり、岸に着いた瞬間の衝撃をぐっと踏ん張って耐えたり、何回も行ったり来たりして遊びました。イカダの他にも 草相撲をしたり、シロツメクサで指輪を作ったり、木登りをしたりして遊びました。

帰りのバスでは、子どもたちと自分についての3択クイズ大会をしました。みんな順番に出題者になったり回答者になったり…。全体を通して少人数ならではの遊び方ができた森のようちえんになっていたと思います。今年度、残り2回の森のようちえんも楽しみです！

岩手大学教育学部2年 二永 芽衣 (ビリケンリーダー)



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 6月報告書



皆さんこんにちは！キャンプが待ち遠しいマックスです！6月11日(日)に山田町の陸中海岸青少年の家にて行なわれた宮古アドベンチャーについて報告します。今回は火をおこしてパンを焼きました！

宮古駅に13人の子どもたちと、11人のリーダーが集まり、バスに乗って出発しました。バスの中ではゲームをしたり歌を歌ったりして楽しみました！到着すると施設の方に元気に挨拶をして皆で協力して荷物を運び、その後はグラウンドで遊びました！人間知恵の輪ではグループで楽しく声をかけ合いながら何度も失敗を繰り返しながら挑戦していました。ドンじゃんけんではグループで作戦をたてて協力して全力で走ってじゃんけんをしていました！しかし、雨が強くなってしまい、途中で屋根のあるところへ避難しました。それでも、ジェスチャーゲームで盛り上がり、子どもたちもやりたいと言ってくれ、ジェスチャー大会となりました！どれも子どもたちの個性が光ってとても面白かったです！

ジェスチャーもやりつくし、パン作りのスタートです！薪割り・火付けグループ、パングループ、ジャムグループがあり、子どもたちは自由にやりたいところへ行行って作業しました。どのグループも楽しそうで

た！薪割りと火付けは夢中になって行っていて、パンは皆で楽しくこねてあためて発酵させていました。

ジャムは皆でりんごとみかんを細かく切って煮込みました。そしてグループごとにパンを串に巻いて焦げ目がつくまで焼き、美味しいパンが出来上がりました！ジャムも大成功でとても美味しかったです。さらにボランティアのスタッフの方たちがシチューも作ってくれ、パンをジャムとシチューにつけて食べました！どのグループもおかわりして楽しく食べていました！食べ終わったあとはしっかりと片付けをしてフリータイムでは鬼ごっこで走り回ったりおやつ交換をしたりして楽しく過ごしました！

今回の活動では1人ひとりが皆のために作業をするというプログラムになっており全員で協力して作ることができました！子どもたちの笑顔も見え、とても楽しい活動となりました。次回はキャンプ後になりますので、さらに充実したものになりたいです。

岩手大学教育学部2年 東 彩由海 (マックスリーダー)



7月の予定

- ★7月2日(日)
ファミリーサッカーフェスティバル
場所：仁王小学校校庭
- ★7月15日(土)
本町サッカースクール1期終了
- ★7月16日(日)～7月17日(月・祝)
わんぱくキャンプ
場所：都南つどいの森キャンプ場
- ★7月18日(火)
火曜水泳教室休講
- ★7月19日(水)
盛南サッカースクール1期終了
水曜水泳教室1期終了
- ★7月20日(木)
向中野サッカースクール1期終了
高松サッカースクール1期終了
- ★7月21日(金)
篠木サッカースクール1期終了
盛北サッカースクール1期終了
金曜水泳教室1期終了
- ★7月23日(日)
ニコニコファミリークラブ
【ファミリーアウトドアクッキング】
～バーベキュー作り～
場所：盛岡市外山森林公園
- ★7月24日(月)
土淵サッカースクール1期終了
月曜水泳教室1期終了
- ★7月25日(火)～7月27日(木)
体育教室 キッズコーディネーション
場所：仁王地区活動センター
- ★7月28日(金)～7月30日(日)
中学生キャンプ
場所：八幡平市焼走り国際交流村



君でいいんだよ ～JUST THE WAY “YOU” ARE㊦～

あじさい

ばらだから褪せもしようさ
紫陽花だ 雨にも色ます

ばらだから香も失せようさ
紫陽花だ 匂いはいらぬ

青ざめた丸顔だって
その代わり頬は散らない

赤いばかりが色かってんだ
青いのも花の色だよ

雨ふれば平気でぬれる
風ふけば平気でゆれる

蝶もこないが毛虫もつかぬ
棘なんか元より不要

丸腰ものんきなもののよ
葉のつやで元気が知れる

花期だって比較にならぬ
三倍も五倍も長い

(堀口大学「ある詩人の独白」から。)

僕の好きな紫陽花の季節になってきた。盛岡では、開運橋のたもとに咲く紫陽花が色が濃くてお勧めだ。また、ぴよんぴよん舎本店の入り口にあるのもとても綺麗で気に入っている。

しかし、昔の紫陽花はもっと淡い色だったように記憶している。まして、この詩が作られた当時は、薔薇に比べると随分見劣りする花だったのだろう。でも、そんな紫陽花にも良いところはたくさんある。

僕たち人間は、つい他人と自分を比べて落ち込んでしまう。特にジメジメした梅雨の時期はそんな気分になってしまいがちだ。大学が紫陽花の良いところを探したように強引でもいいから自分の良いところを探し始めたら結構見つけれそうだ。

「こんな自分でもいいんだよ」と信じなければ「君でいいんだよ」なんて言ってもらえない！！

「こんなごく小さな事さえできないのに、なぜ、ほかの事まで思い悩むのか。野原の花がどのように育つかを考えてみなさい。働きも紡ぎもしない。しかし言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花ひとつほどにも着飾ってはいなかった」

(新共同訳聖書 ルカによる福音書12章：26節～27節)



盛岡YMCA総主事 濱塚有史

ショッカーもフィリピンで考えた。④



ワークキャンプ4日目、5日目はホームステイをした。日本からのキャンパーとイロイロYMCAのユースがそれぞれ5組に分かれ、5つの家族に受け入れていただいた。私は、イロイロYMCAのユースリーダーと2名で、フランセリオファミリーにお世話になった。他のグループは、日本からのキャンパーが2名以上とイロイロYMCAのユースというグループであったが、私は日本人一人であった。最初は不安な気持ちもあったが、一切日本語に関わらないというのは、なかなかない経験だと感じ、楽しみだった。ワークを終え、胸を躍らせながらホームステイ先まで向かった。到着すると、フランセリオファミリーのみんなが暖かく向かい入れてくれた。少しすると近所の子ども達が集まってきて、みんなでロックマイソウルを歌ったり手遊びをしたりして過ごした。朝は朝ごはんを一緒に作った。焼き魚だったが、油の量がとても多く、もはや揚げているようで豪快であった。

人生初のホームステイはあっという間に終わってし

まった。何もかもが新鮮で驚くことも多かった。特に印象に残ったのは、家庭と家庭の距離の近さだ。ホームステイ初日、みんなで遊んでいた時に、気がつくくと子どもの数が増えていた。勝手に家に入ってきては冷蔵庫をあけ中のものを食べる子がいて驚いた。しかしホストマザーは嫌な顔をせず当たり前のように受け入れ我が子のように接していた。また、バイクで学校まで送迎する際は他の家の子も送ってあげるなど近所の家で支え合いながら生活していた。感同士の関わりが深く親密な関係なのではないかと感じた。

今回は朝と夜の限られた時間しかホームステイ先にいることができなかった。しかし、その時間で現地の暮らしを体験でき、ホストファミリーともたくさん関わることができた。ワークキャンプを終えてから4ヶ月がたったが、今でもSNSを通じてホストファミリーと連絡を取り合っている。今後も交流を続けていきたいと思う。そしてまたいつか会えることを願っている。

岩手県立大学 3年 伊藤 陸 (ショッカーリーダー)

表紙の写真から



今回の表紙を飾るのは、5月28日(日)に行われた5月アドベンチャーでの1枚。野外炊事後、外山森林公園のアスレチックで大はしゃぎをする子ども達とリーダー☆これからのキャンプも楽しみます。

感謝

(2017年度6月17日現在) 歌称略

●維持会費

木田泰之、光永尚生、花田瞳、小笠原真紀子、東森聡、伊藤

辰太郎、伊藤愛美、尾形裕一郎、家村知佳、小川嘉文、小川

明佑、魚住正、長岡正彦、斎藤恒夫、濱塚有史、濱塚真美、

濱塚恵太、濱塚直樹、濱塚敦人、濱塚秋二、濱塚れいこ、熊

谷大樹、今松桂子、熊谷太、増田隆、田村治之、鶴丹谷三千

代、大岡靖二、北田エミ子、熊谷力貴、熊谷保宏、名古屋恒

彦、工藤あさひ、高瀬裕彦、早坂春希、熊谷一郎、村田深

雪、及川孝虎、遠藤昌樹、神田穂慧一、伊藤真一郎、伊藤み

どり、飯島隆輔

●寄付金

熊谷力貴、早坂春希

熊谷尚生、花田瞳、熊谷大樹、今松桂子、熊谷太、増田隆、

リーダー紹介



みなさんこんにちは！はじめの季節が今年もやってきて夏が待ち遠しいと感じています。チーズこと、盛岡大学児童教育学科3年の小野寺保乃香です。今回私が紹介させていただいたリーダーは、「ショッカーもフィリピンで考えた。」でおなじみ、ショッカーリーダーです！ショッカーは、岩手県立大学総合政策学部3年で本名は伊藤陸というです。活動はサッカーやアドベンチャー、サンデースクールなど積極的に参加しています。どの活動に行ってもショッカーがいる、そう思わせるほどたくさん活動もしているリーダーです。

ショッカーは、リーダーの中でも背が高くスタイルがいいです。滑舌がわるいところが邪魔しますがしゃべらなければイケメンの枠に入るのでしよう。そう、しゃべらなければ。彼を知っている人もよく口にしていきます(笑)そしてそんな彼はリーダーの中でもいじられ役です！でもあまりいじりすぎるとパニックになってしまうのでお手柔らかに、一緒に活動をしていられるショッカーですが、滑舌がわるい(；)ではなく(ちよつと思えます)、ショッカーは、仲間のことを自分のことのように考えられる人だなどいうことです。誰かが悩んだり喜んだりいたりすると、そのひとの思いを汲み取ろうと喜んでいたりくれます。子どもたちがどうしたらもっと楽しくなってくれるのだろうと考えている姿はとても尊敬します。これから始まる夏のキャンプでも活躍してくれることはまちがいないです！どんな人でも受け入れてくれる、そんな雰囲気をもっているから子どもたちにとってもリーダーたちにとっても打ち解けやすいリーダーなのですよ。

まだまだいろんな姿があるので、ぜひ話してみてください！たくさん豆知識も教えてくれますよ！これからも盛岡YMCAでたくさん活躍してくれることですよ！以上、チーズからのリーダー紹介でした。最後まで読んでいただきありがとうございます。

盛岡大学児童教育学科 3年 小野寺保乃香 (チーズリーダー)

